

週刊 タバコの正体

今からちょうど5年前の2011年3月11日金曜日午後2時46分、宮城県沖で発生したマグニチュード9.0の大地震とそれによる大津波は、東北地方を中心に甚大な被害を与え、15,894人も命を奪い、町全体を破壊してしまいました。



asahi.com サイトから

小学生だった皆さんの脳裏には、どれほどの記憶が残っているのでしょうか。想像を絶する自然の力の大きさに、日本じゅうの人々が衝撃を受けました。広大な地球の営みの中では、人間が作りあげた様々な生活環境は、アリの棲みかほどの存在でしかないと感じる災害でした。

それから5年、「東日本大震災」という言葉を目にし続けていますが、そんな当時の衝撃は薄らいでしまいました。しかし、多くのものを失った地域には、その痕跡がまだ多く残されていて、いまだに2563人もの行方が分かっていない事もその一つです。そのため、現在も宮城県石巻市の大川地区では、一列に並んだ警察官が砂の表面をかいて搜索する活動が続いています。



朝日新聞デジタルから

ある日突然、住む家や家族を失い平穏な暮らしを奪われた事を想像してみてください。住む家があり家族があり、ごく普通に平穏な毎日を送れる事がどれだけ幸せなことなのか。タバコには関係ありませんが、この日を機会に考えてみてください。

産業デザイン科 奥田 恭久